

# 臨床教科教育学会研究会 パネルディスカッション 内容

1 日時 11月19日(土) 10:50~12:20

2 テーマ

教育改革と授業改革の可能性 ～「社会に開かれた教育課程」の実現～

趣旨

現在、日本の教育は転換期を迎えている。次期学習指導要領の改訂の一つの柱として、社会に開かれた教育課程の実現がある。そのためには、学校現場だけでなく、社会全体で、学校において育成すべき力は何かを共有する必要がある。大学、高校、中学校、小学校において、限られた人、モノ、カネ、時間、情報、教育内容等をどのように組合せ、子どもたちの資質・能力を育むのかというカリキュラム・マネジメントの視点が重要となる。

今回のパネリストのみなさんには、教育改革と授業改善について、社会に開かれた教育課程の実現を、現在どのように取組、さらに向上させていくのかを伺った上で、今後の学校教育に対する方向の示唆を得ることを目的としている。

3 参加者

パネリスト

- ・柳澤 好治 文部科学省高等教育局大学振興課教員養成企画室室長
- ・小野島恵次 新潟県立高田高等学校校長
- ・青木 弘明 上越教育大学附属小学校教頭
- ・時松 哲也 大分大学附属小学校教頭

コーディネーター

- ・桐生 徹 上越教育大学教職大学院教授